

平成26年度

事業計画書

公益財団法人として3年目を迎え、「公益財団」の名に相応しい一層の社会貢献をすべく、理念であるユースホステル運動の活性化や青少年の健全育成活動に積極的に取り組んでいきます。また、大阪市立青少年センター、羽衣青少年センター、貝塚の大阪府立少年自然の家では、地域における社会教育拠点としての機能を維持し、利用者の満足度を更に高める運営を目指していきます。

重点目標

1. ユースホステル運動の振興のための積極的な取り組み

一般財団法人日本ユースホステル協会と連携し、漸減しているユースホステル会員の維持および活性化のためのアピールや広報認知活動に注力していきます。また、国際ユースホステル連盟と連動して、ユースホステル運動の振興と発展に積極的に取り組んでいきます。

HIQ(ハイクオリティ)の認定を受けた新大阪と大阪国際の両ユースホステルを拠点に活動推進するとともに利用者増を図ります。

2. 羽衣青少年センターの充実化

当協会の保有施設である羽衣青少年センターは、施設機能の広報や営業により一層注力するとともに、大阪国際ユースホステルとの一体化をさらに進めます。また、保有施設ならではの自由度を活かした事業展開やサービスの向上で利用者増を実現していきます。

3. 大阪市立青少年センターの一体運営

文化ゾーンとユースホステルの受付・予約等日常業務を、昨年7月より一体運営化し効率化を図ってきましたが、本年はその軌道化の一年とすべく運営していきます。文化ゾーン、宿泊ゾーン、レストランの活動を強化充実により、青年センターの経営基盤を盤石化し環境変化に対応していきます。また、一層の利用者満足度向上と社会教育的な事業の充実を図り、社会に真に必要な施設としてアピールしていきます。

4. 府立少年自然の家の魅力向上と利用者数目標の達成

プログラムの充実・職員スキルの向上・施設環境の整備・リーダー組織の育成・広報の強化等を行い、利用目的達成のための支援・積極的な事業展開を行ない利用者数目標を達成します。

5. 活動拠点の拡大の研究と展開

新しい活動拠点作りのために指定管理施設などの研究や情報入手に努め、拠点としてふさわしい施設については積極的にその取得を目指します。

事業計画

1. 登録会員数の増強

(単位=人)

	平成26年度目標	平成25年度見込	対 比
大阪	3,200	3,200	100%
全国	38,000	38,000	100%

青少年を主体にした会員獲得対策の実施

- ・インターネットによるオンライン入会の推進
- ・パブリシティーを強化し広報活動を充実
- ・大学ユースホステルクラブを中心にした事業の展開と連携
- ・事業参加者への入会促進
- ・会員制度の見直し(会費等)

2. ホステルの利用促進

(単位=泊)

	平成26年目標	平成25年見込	対 比
大阪	61,000	59,000	103%
全国	389,000	382,000	102%

- (1) それぞれの特性(立地・規模等)を活かしたホステルの魅力アップ
- (2) ホステル相互の情報交換と連携の推進
- (3) 海外にむけた情報の発信
- (4) マスコミを中心としたパブリシティー活動
- (5) 近畿ブロックユースホステル協議会と連合した利用促進の展開

3. ユースホステル運動の事業推進

(1) ホステリング事業・ウォーキング事業

- ① こどもひとり旅ホステリング 計10本
- ② 100キロウォークの実施(5月)
- ③ 第42回「伊勢迄歩講」の実施(12月)
- ④ 歩行検定など定例的なウォーキング事業の実施 計8本

(2) 会員サービスの事業・国際交流

- ① 旅行セミナー(年1回)と旅行相談会(月1回)の充実
- ② 外国人旅行者のためのインフォメーション活動

(3) リーダーと指導者の養成

- ① ボランティアリーダーの委嘱会・合同研修会
- ② ボランティア各組織ごとの専門的研修会

(4) その他

- ① ジュニアインターンシップ(小学校高学年～中学生)の実施
- ② 海外からの青少年の研修などを受け入れ
 - ・IJGDによるドイツ人ボランティアの受入れ(4名)

4, ユースホステルの運営

	平成26年目標	平成25年見込	対 比
新大阪	21,000人	20,100人	104%
ベッド稼働率	46%	43%	
客室稼働率	70%	69%	
大阪国際	27,000人	26,500人	102%
ベッド稼働率	35%	34%	
客室稼働率	44%	42%	

(1) 新大阪ユースホステルの運営

- ・海外の学校団体及び個人ホステラーの誘致を積極的に強化
- ・世界ランキングNo.1の評価獲得のための運営指針の策定
- ・コプラザ利用者との併用利用の推進
- ・青少年団体や修学旅行利用の獲得
- ・予約サイトの活用(個人・グループ向けパック)
- ・宿泊者対象の自由参加型イベントの実施(年間約70本)
「たこやき体験」「ロビーコンサート」「浴衣着付け体験」等
- ・環境に配慮した施設運営(節電・節水・ゴミの分別等)

(2) 大阪国際ユースホステルの運営

- ・高石市や公園事務所と連携し、施設PRを積極的に実施
- ・近隣の企業や学校への営業活動
- ・旅行会社や観光案内所に定期的な営業活動
- ・予約サイトの活用(個人利用の拡大、合宿利用)
- ・食堂でのパーティや二次会の利用増(HPの改定、ぐるなび掲載)
- ・地域密着型のイベント実施
- ・社会福祉活動の一環としてエコキャップ回収運動の強化
- ・環境に配慮した施設運営(太陽光パネルを活用したエコ教育事業の実施等)

5, 青少年施設の運営

	平成26年目標	平成25年見込	対 比
大阪市立青少年センター 利用率	190,000人 61%	187,500人 60%	101%
羽衣青少年センター 利用率	165,000人 34%	162,000人 33%	102%
大阪府立少年自然の家	98,000人	93,000人	105%

(1) 大阪市立青少年センター

- ・ 青少年活動の拠点としてさらなる青少年の利用促進
- ・ ココカフェでのライブ事業の推進
- ・ アートショップ機能の強化
- ・ 文化ゾーン・宿泊ゾーンの受付・予約業務等の一体運営
- ・ 貸室の増室による利用者増
- ・ 夜間機械警備の導入による経費節減。
- ・ 青少年育成事業の継続的な展開
 - ここぷらキッズ事業(こどもの居場所づくり)
 - カルチャー事業
 - 成果発表の場の提供(情熱トランスミッション)
 - フォーラム事業
 - ジュニアダンスオペラ事業
- ・ 青少年活動の拠点として、提案型の自主事業を実施
 - ワークショップ事業(PC講座) 6本
 - 地域密着イベント事業(七夕・夏まつり) 2本
 - 世代間交流事業(童謡喫茶) 10本
- ・ ココカフェの運営強化
 - ランチ・パーティー等の需要への注力

	平成26年目標	平成25年見込	対 比
ランチ	13,000食	11,100食	117%
パーティー	110組 3,300人	92組 3,040人	108%
結婚式2次会	24組 800人	18組 700人	114%

○自主イベントの開催

- ライブ事業(青少年ライブ・プロライブ) 30本
- フォークソングナイト 12本

(2) 羽衣青少年センター

- ・企業研修、団体合宿利用の獲得
 - ・施設の維持管理(経年劣化箇所の補修)
 - ・利用者本位の施設運営による満足度の向上
 - ・ホームページのリニューアル(需要に応じたわかりやすい構成、掲載メニュー強化による食材需要獲得)
 - ・魅力的な自主事業(プログラム)の推進
 - こども対象事業 23本
 - ファミリー対象事業 5本
 - 一般向け体験プログラム 30本
- ヨガ・太極拳・ノルディックウォークなどの充実化

(3) 大阪府立少年自然の家

- ・社会教育施設としての情報発信
- ・学校教育現場との連携と利用促進
- ・提供プログラムの充実と利用者満足度の向上
- ・ホームページの有効活用と情報発信機能の強化
- ・食育の推進と食事内容の充実
- ・ボランティアリーダーの育成と活動場面の拡大
- ・障がい者の就労支援と人に優しい施設づくり
- ・青年の家等連絡協議会を中心に府下青少年施設と連携
- ・事業の実施
 - 家族対象自然体験事業 5本
 - 家族対象・野外料理体験事業 5本
 - 家族で遊ぼう焚き火事業 7本
 - 長期自然体験キャンプ(こども・中高生対象) 3本
 - フォレストジュニアクラブ(子ども対象・1泊) 6本
 - 知的障がい児支援事業(臨床動作法と乗馬体験) 2本
 - 指導者養成事業(指導者対象技術研修) 3本
 - 社会体育事業(ナイトハイキング・耐寒ハイク) 2本
 - アドプトフォレスト事業 1本
 - 自然の家オープンデー(音の葉音楽祭・自然体験プログラム等) 1本
 - 「森の絵本をつくろう」 1本

<共同指定管理者 一般財団法人大阪府青少年活動財団>

以 上